

日置市 クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

鹿児島県 日置市について

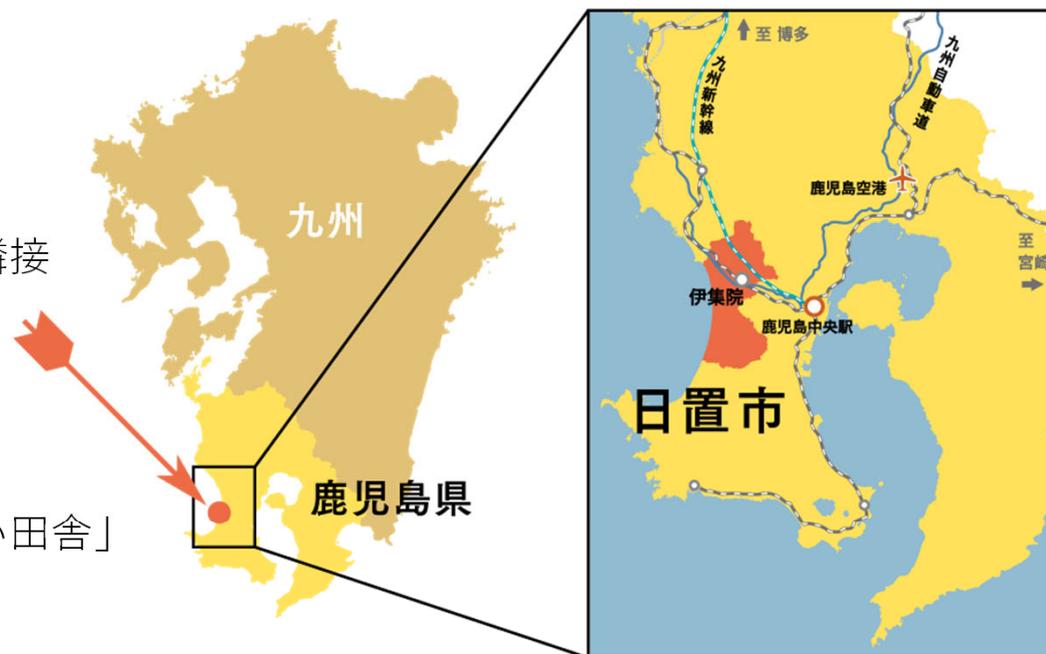
人口 46,237人（令和6年10月時点）

位置 薩摩半島の中央部に位置し、鹿児島市に隣接
（車で約30分、JRで約30分）

特徴 鹿児島市のベッドタウンとして発展
都会と田舎を両方楽しめる「ちょうどいい田舎」

特産品 オリーブ・月日貝・お茶・苺

行事 妙円寺詣り（毎年10月の第4日曜日とその前日）
美山CRAFTWEEK（毎年10月下旬～11月上旬）



←オリーブ ↓月日貝

日置市 クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

東市来町 美山地区について

特徴

425年以上続く「薩摩焼」の伝統と歴史を守り、官民一体となり成長

- クラフト（ものづくり）のまち ▶ 直径1km内に30店舗以上が点在（薩摩焼・木工・ガラス・飲食など）
- 日置市屈指の観光エリア ▶ 豪華寝台列車「ななつ星」やクルーズ船の立ち寄りスポット
- 地域主体のまちづくり ▶ 任意団体による竹林整備、地域おこし協力隊の配置（H28～R4）

写真左：薩摩焼(黒薩摩)

写真中央：薩摩焼(白薩摩)

写真右：美山の器を使用した料理



地域課題

- ・職人の高齢化や後継者不足
- ・販売力不足
- ・全国的な知名度不足

- ・観光案内機能の低下
- ・景観保全の形成と維持
- ・地区唯一の商店廃業

行政課題

- ・伝統産業の担い手不足
- ・ものづくり事業者の実態不明確

- ・情報発信不足
- ・受入環境整備不足
- ・国際交流の発展への期待

課題解決に向けて

関係者（事業者・住民・行政）が本気で考え&しっかり対話



- ・推進体制を構築
- ・横断的な取組み
- 「新たな価値創出」



日置市 クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

事業目的

● 伝統工芸（薩摩焼）の継承

県下最大の産地として「薩摩焼の里」を維持



● 年間を通じた販わい創出

地域マーケティング力の向上、美山ブランドの確立



● 観光まちづくり整備

計画的な整備による地域の魅力度と暮らしの質の向上



● 韓国との交流拡大

薩摩焼の歴史背景から始まった韓国南原市との交流拡大



事業内容

① GPS動態調査

→ データ分析・活用のノウハウを行政と市内事業者がともに習得し、客観的根拠に基づく事業展開を図る。

② 地域資源発掘調査・観光コンテンツ造成・販売力強化支援

→ 地域に埋もれた観光素材の資源化や観光コンテンツ造成、各店舗の商品販売力強化支援により、売れる＆稼ぐ観光商品を確立する。

③ 後継者育成制度の確立

→ 事業者へのヒアリング結果や他産地の事例をもとに、美山地区がクラフトのまちとして存続する最適な後継者育成制度を確立する。

④ 観光まちづくり計画策定・既存施設の在り方検討・新たな観光拠点の整備

→ 観光客・事業者・住民がメリットを享受するための観光まちづくりを担い手を明確にしながら計画的に推進する。

⑤ 韓国南原市との作家交流・AIR（アーティスト・イン・レジデンス）の導入検討

→ これまでの市民レベルの文化的交流から、クラフト作家の「技術」や「モノ（商品）」へ展開し経済的・産業的な交流を図る。



日置市 クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

得られる成果

役割と責任の明確化による『持続可能な観光まちづくり経営』の推進

観光客

- 観光入込客数の増加
- 観光消費額の増加
- 滞在時間の長期化
- 再訪率の向上



事業者

- 安定的な収益確保
- 販路拡大
- 付加価値化
- 技術の継承



住民

- 人口増加
- U I J ターン促進
- 暮らしの快適性UP
- 郷土への誇り向上



行政

- 観光素材の資源化
- 伝統工芸の継承
- 美山ブランド確立
- 交流人口の増加



寄附をするメリット

- ・ 企業名を掲載（市ホームページ・広報紙・パンフレット・イベントチラシ等）
- ・ 感謝状を贈呈

連絡先

日置市役所 総務企画部商工観光課 上村・寺田・藤川 ☎ 099-248-9409（直通） ✉ kanko@city.hioki.lg.jp